

生きる力

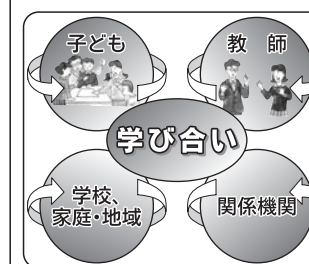
第6次福島県総合教育計画

基本理念 “ふくしまの和”で奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり

- 基本目標
- 知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成
 - 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現
 - 豊かな教育環境の形成

- 基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力
- 自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
- たくましく生きるための健康や体力 など

「学び合う」県北の教育



子どもの学び合い

- ・ 教師の指導のもと、子どもたちが教材と向き合い、自立し、他者と協同して課題解決する学習活動

教師の学び合い

- ・ 子どもの学びの姿を中心に据えた、研修等による教師の専門性の向上

学校、家庭・地域、関係機関の学び合い

- ・ 目指す子どもの姿を共有した連携・協力
- ・ 幼・小・中・高の連携の推進

確かな学力の向上

- ◎ 「確かな学力」の向上を目指す実効あるグランドデザインへの改善
 - ◇ P D C Aを踏まえた明確で具体的な実践内容の位置付け
 - ◇ 長期、中期、短期の評価の工夫と学校関係者評価の活用
- ◎ 「確かな学力」の向上を支える基盤（環境）づくり
 - ◇ 学級経営を土台としたよりよい人間関係の構築
 - ◇ 聴き方・話し方を重視した学び合う集団の育成
 - ◇ 発達段階に応じた「学び方」「学習訓練」の確立
 - ◇ 学びの習慣を育てる「授業」「家庭学習」「朝の学習等」の学習サイクルの確立
 - 幼児の主体的な活動を促す計画的な環境構成

確かな学力

学ぶ意欲、思考力・判断力・表現力等



思考の共有と吟味

より効果的な学び合いにするためには、教師の役割が大切です。

- 子どもの学びの姿を把握する。
- 教材をもとに考えさせる。
- 子ども一人一人の思考をつなぐことによって、自他の思考の違いやよさに気付かせる。

◎ 「確かな学力」の向上を目指す授業（保育）の充実

授業改善に生かしたいポイント

- 子どもの実態と学習目標を踏まえた指導の重点化
- 子どもにとって学びがいのある学習課題の設定と把握のさせ方
- 子どもに自分の考えをもたせる場の保障
- 子どもにとって効果的な学び合いの工夫
- 子どもの学びを生かしたまとめの工夫

- ◇ 子どもの学びの姿に即した教材研究・分析の充実
- ◇ 「わかる・できる授業」のための発問、板書、ノート指導等の工夫
- ◇ 「習得」「活用」「探究」を関連付けた学習活動の充実
- ◇ 体験的な学習や問題解決的な学習の重視
- ◇ 思考力・判断力・表現力等を育成するための言語活動の充実
- ◇ 少人数教育のよさを生かした指導の推進
- 「言葉」と「体験」を大切にしたい指導と人間関係づくりの重視

◎ 「確かな学力」の向上を支える研修等の充実

- ◇ 子どもの学びの姿に即した校内研修の活性化と授業の充実
- ◇ 基礎的な指導力の向上と日々の教材研究の見直し
- 幼稚園教諭の専門性の向上
(幼児期の発達の特徴を踏まえた指導の充実)

豊かな人間性・社会性の育成

道徳教育の充実

- ◎ 重点目標を設定した全体計画と各教科等との関連を考慮した指導計画の改善
 - ◇ 各教科等、体験活動との関連的指導を明確にした年間指導計画の作成
- ◎ 道徳の時間の指導体制の確立と多様な展開を図るための工夫
 - ◇ 道徳教育推進教師を中心とした全教師による協力的な指導体制の確立
 - ◇ 「道徳の時間」の授業公開と、保護者や地域の人々が参加・協力する体制づくり
- ◎ よさを認め励ます評価
 - ◇ 指導の前後における児童生徒の心の変容を、長期的・多面的に見取る総合的な評価

特別活動の充実

- ◎ 自校の課題解決を目指した指導計画の改善
 - ◇ 重点的に育成していくべき資質や能力に即した評価観点を設定した指導計画の作成
- ◎ 自主的・実践的な態度を育成するための指導の工夫
 - ◇ 一人一人が自己の役割や責任を果たし、集団の一員としての自覚を深める指導の充実
- ◎ 特別活動の特質を踏まえた評価の工夫
 - ◇ 育成すべき資質や能力が確実に育てられているかの確認

生徒指導の充実

- ◎ 積極的な生徒指導の推進
 - ◇ 望ましい学級集団の形成
 - ◇ 基本的な生活態度や守るべき規範の形成
 - ◇ 教育相談の一層の充実
- ◎ 不登校解消やいじめ根絶の推進
 - ◇ 児童生徒の実態の的確な把握による問題の早期発見、早期対応、早期解決
- ◎ 問題行動の未然防止と迅速な対応
 - ◇ 家庭や地域、近隣校、関係機関との実効ある連携

特別支援教育の充実

- ◎ 一人一人のニーズに応じた指導の充実
 - ◇ 支援内容の明確化と「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の有効活用
 - ◇ 具体的で分かりやすい学習支援
- ◎ 集団とのかかわりを重視したよりよい友達関係の構築
 - ◇ よりよい人間関係づくりと、基本的な社会的スキルの習得へ向けた学習の工夫
- ◎ 連携を生かした支援体制の充実
 - ◇ 機能する校内支援体制の確立
 - ◇ 家庭との信頼関係を大切にしたい一貫性ある支援
 - ◇ 特別支援学校、関係機関等との連携

体力の向上と健康・安全

- ◎ 体育・健康に関する指導計画の工夫・改善
 - ◇ 明示された指導内容を確実に身に付けさせるための各単元や授業時数の的確な配当と実践
 - ◇ 実効性のある「学校保健計画」「学校安全計画」「食育全体計画」等の作成、改善
- ◎ 体力の向上に関する指導の充実
 - ◇ 運動身体づくりプログラムの自校化等、体力づくり推進計画の作成、改善とその確実な実施
 - 自ら体を動かす気持ちよさを体験できる場の設定

- ◎ 健康に関する指導の充実
 - ◇ 『性に関する教育』の手引』の活用を図った発達の段階に応じた指導
 - ◇ 学校給食等を効果的に活用した食に関する指導の展開
- ◎ 安全に関する指導の徹底
 - ◇ 具体的な場面を想定した指導による危険予測・危険回避の能力の育成

※ □印：特に幼稚園にかかわる内容

社会教育からの支援

○地域の教育力の活用（学校支援・家庭教育支援）

○学習機会の提供（公民館、学習センター、図書館）

○放課後の安全・安心な子どもの居場所づくり（放課後子どもプラン）